

第2回 日本学術会議基礎系歯学分科会 議事録（案）

開催日時：令和4年1月24日（月）15時～16時

開催形式：Zoomシステムによるオンライン開催

出席者：東 みゆき、石丸 直澄、宇尾 基弘、小笠原 康悦、西村 理行、埜 隆夫、樋田 京子、前川 知樹、前田 健康、美島 健二、山口 朗、山下 善久、渡部 徹郎（敬称略；50音順）

陪席者：作本 明日香（日本学術会議事務局）

1. シンポジウムの開催について

1) 前川先生より、令和3年の歯科基礎医学会大会において開催した、日本学術会議 会員・連携会員によるシンポジウムについての報告があった。

2) 令和4年の歯科基礎医学会大会では、日本学術会議主催ならびに歯科基礎医学会主催により、日本学術会議シンポジウムを開催することとした。オーガナイザーは、樋田先生と渡部先生に依頼した。シンポジウムのテーマは、「がん」および「血管」を中心とするが、歯科基礎医学会大会の他のプログラムとの関係も考慮する。座長の一人は、基礎系歯学分科会から、もう一名は歯科基礎医学会から選出することとした。

3) 東先生より助言があり、次のことを念頭においてシンポジウムを開催することとした。シンポジウムを円滑に行うために、基礎系歯学分科会と歯科基礎医学会大会とが、樋田先生、渡部先生、歯科基礎医学会大会実行委員長・石丸先生と基礎系分科会委員長が緊密に連携することを確認した。参加費が無料であるシンポジウムの一般参加については、石丸先生に工夫頂くことを依頼した。

4) 山口先生から歯科基礎医学会大会における日本学術会議シンポジウムの経緯に関する情報が共有された。

2. 提言および報告の発出について

1) 第183回総会において、提言および報告の査読の方法が変更になったことを報告した。

2) マスタープランが廃止となり、歯学として、後継となる提言に向けて準備を進めて発出する方向であることを確認した。また埜先生から後継の提言に関する情報が共有された。

3) マスタープランの後継の提言の根拠資料として纏めている、「歯学研究の国際比較」に関する経過説明が行われた。

3. 2022年度の活動について

1. および2. を中心に進めていくこととした。

4. 「パンデミックに対する連絡会議WGの募集」について

現在、本分科会からは、西村委員長が参加していることが報告された。希望者があれば、適宜、同 WG に参加可能であることが説明された。

5. その他

特に意見はなかった。